



エucheumaクラゲ

ダイバーと比較するとその大きさは一目瞭然!

(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

越前水母

平成17年、エucheumaクラゲの大量発生はマスコミなどに大きく取り上げられ、漁業被害を中心とした報道が各地でなされました。その4年後の今年、またもやエucheumaクラゲが大量発生しています。

この大きなクラゲは、中国大陸東部と朝鮮半島との間にある黄海で産まれ、対馬暖流に乗って日本海から津軽海峡を抜けて宮城にやってきました。そのあとは、さらに南下を続け、房総半島にまで達するそうです。その間も成長を続けるわけですから、初めは小さかったクラゲも、この沖に達する頃には傘径1メートルを超え、2メートルに近いモンスターサイズにまで成長しています。

先月の下旬、志津川湾の3〜4キロメートルほどの沖で大量に浮遊していると漁師さんからの情報を聞きつけて行ってみると、船上から点々とクラゲが見つけられます。早速、潜水器材をセットし水中に潜ってみると、船上から見た数倍の数が確認できました。どのクラゲも大きく、30分ほどの間に30個以上が流れ去って行きました。

「もし、これが網にかかったら...!」そんなことを考えつつ撮影を始める。クラゲの傘や触手に銀色に光る影が動きまわっています。人が近づくとクラゲの中に逃げ込みます。よく見るとアジ科の稚魚が群れ泳いでいました。まるで小さな生き物を運ぶ母船です。恐らくこういった稚魚たちは、ある程度のサイズに成長するまで、こうして大きな魚から身を守っているのでしょう。

これには正直、面喰らいました。厄介者なのは事実として、このような役割も果たしているとは。まだまだ海には知らないことがいっぱいあります。

編集後記

▶地球温暖化のせいなのか、エルニーニョ現象のせいなのか、それとも地球に優しくない私のおナラが最近破壊力を増してきたせいなのか、本来であれば過ぎやすい季節であるはずの秋が一瞬のうちに過ぎ去り、我が家では冬の風物詩となっているコタツが大活躍しています。「気温が下がると思考能力も低下する」というのは私の持論であり、なぜこれを書いたかという、例のふるさとCM大賞の案が、なかなか決まらないのです。▶昨年は、初の挑戦で銅賞を受賞し、大勢の皆さんからお褒めの言葉をいただきました。そして、真価が問われる今年。ひとりになれる時間といえば、トイレで大をしているときと布団の中だけの私。前者の場合は、数十秒おきに子どもたちが交互にやってきて、扉の向こうから私の名前を連呼するので、考えるのは布団の中と決めています。睡魔との激闘の末に思いついた案は「ある民俗芸能をテーマにした作品」です。どんな作品が出来上がるか楽しみにしてお待ちください。もちろん、却下されなければですけど…。
担当 加藤

南三陸町ホームページ

パソコン用
<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/>
携帯電話用
<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/m/>



ホームページ
(携帯電話用)

南三陸町メール配信サービス登録ページ

<http://m.town.minamisanriku.miyagi.jp/>



メール配信サービス登録

日曜当番医

- 11/ 1 本田記念あおいクリニック
☎46-4530(志津川字十日町)
- 11/ 8 高橋クリニック
☎46-4315(志津川字中瀬町)
- 11/15 南三陸志津川クリニック
☎47-2777(志津川字塩入)
- 11/22 上田クリニック
☎36-2316(歌津字中山)
- 11/29 鎌田医院
☎36-2008(歌津字伊里前)
- 12/ 6 ささはら総合診療科
☎47-1066(志津川字汐見町)

第1・第3日曜歯科当番医

- 11/ 1 三浦歯科医院
☎42-2418(気仙沼市本吉町津谷)
- 11/15 小野寺歯科医院
☎36-3717(歌津字伊里前)
- 12/ 6 茶園歯科医院
☎46-3629(志津川字十日町)

※診療時間受付は午前9時～午後5時。
※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。